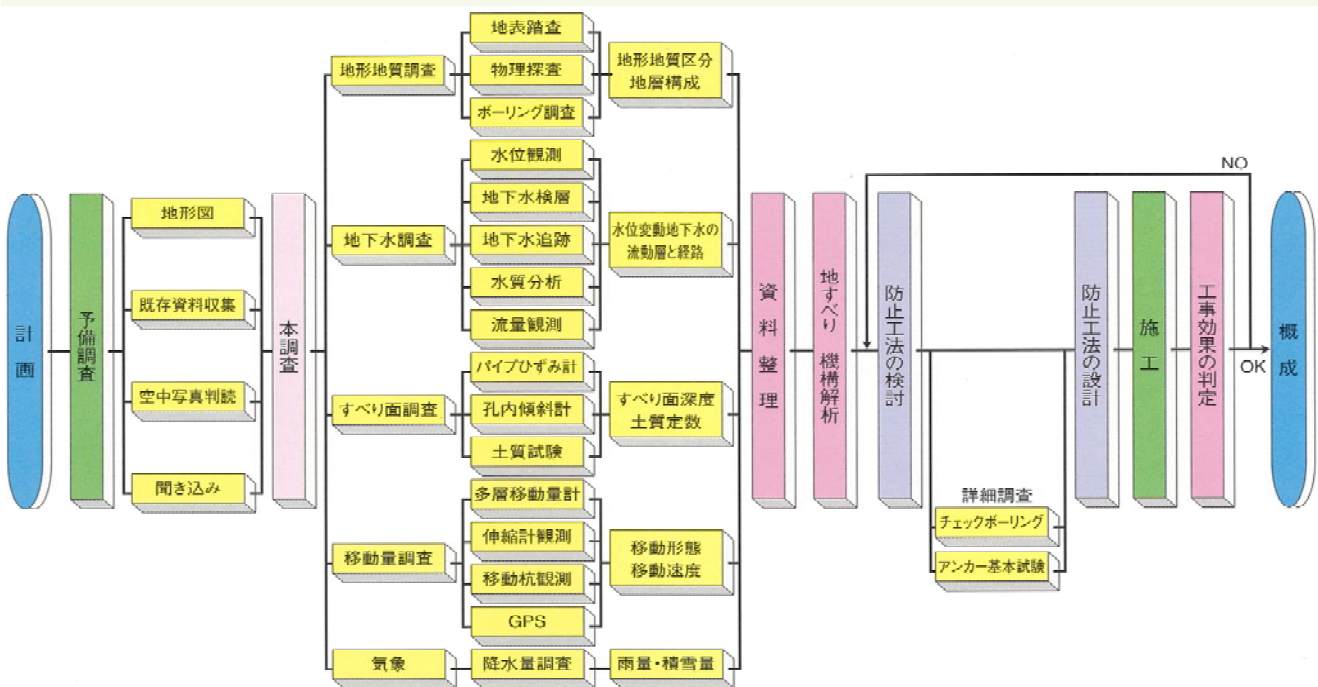


地すべり調査

日本では、脆弱な地盤条件に加えて近年の社会活動の急激な拡大によって、**斜面崩壊**による土砂災害に遭遇することが増えています。日さくは長い経験と豊富な専門知識によって、国土保全に関わる**地すべり対策事業**に参画し、地すべりの**発生機構を解明するための各種調査と防止対策工法の検討・設計**を実施し、社会に大きな貢献を果たしています。

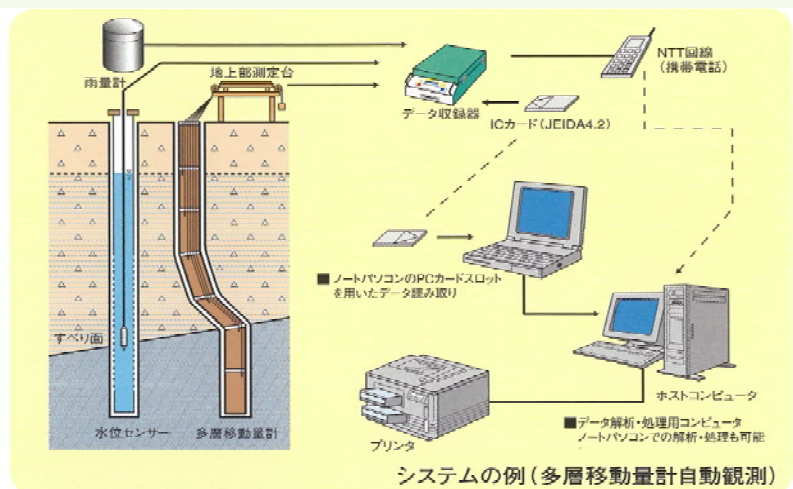
地すべり調査の系統図



自動観測装置の活用

地すべり機構の調査では、すべり面の深度、性状を解明することおよび、移動状況・地下水状況を把握することが主な目的となります。特に降水量と地下水位・移動量の変化状況の相互関係を明らかにすることが、防止工法を検討するうえで重要になります。

日さくでは、このような諸量の測定に自社で開発した自動観測装置（NOS自動観測システム）を用いることによって、測定精度を高めるとともに、パソコンによるデータ解析・データ表示によって、作業効率をあげています。

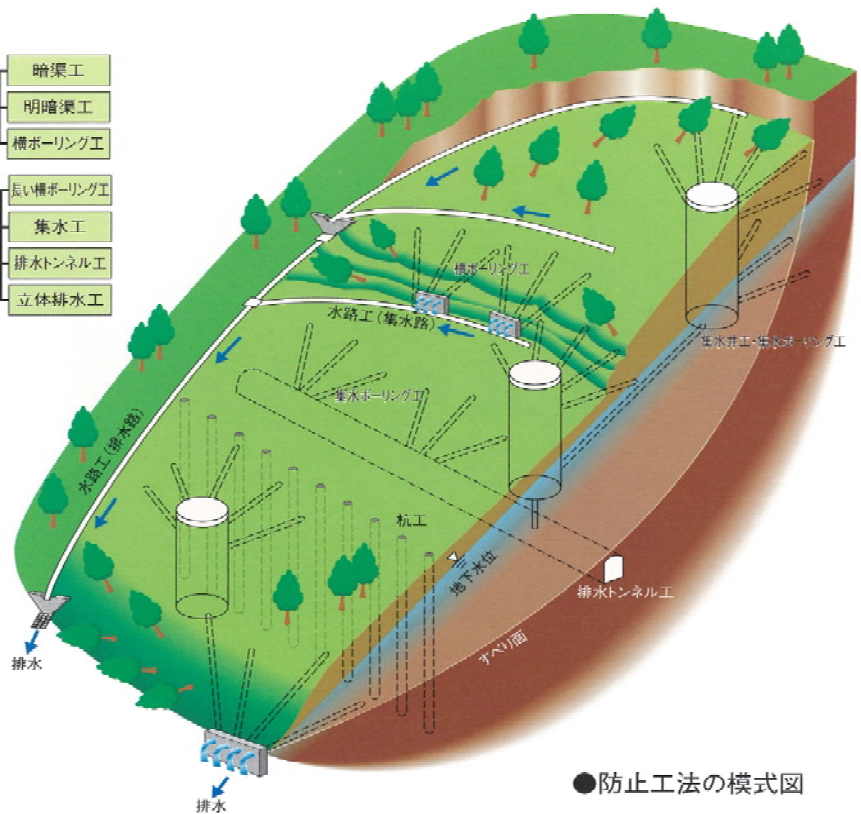
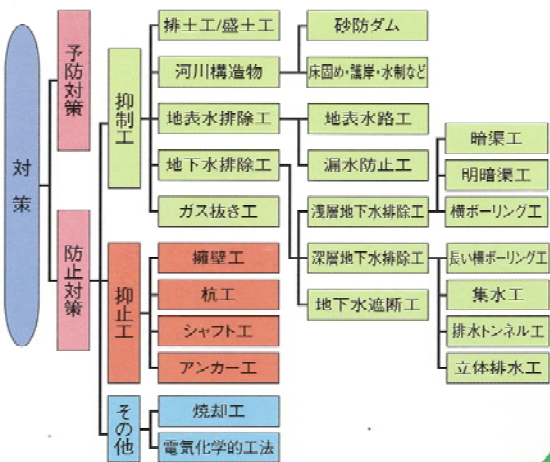


地すべりの発生と復旧



地すべりの防止工法

●防止工法の分類



●防止工法の模式図

地すべり防止工法は、地すべり発生の原因を取り除く抑制工と、地すべり推力に対して力で抵抗する抑止工に大別されます。工法の選定にあたっては、それぞれの地すべりの安定性(斜面安全率)、地すべり機構、被災対象物等の条件を総合的に検討し、経済性を考慮しながら工法を組み合わせる必要があります。

日さくは、豊富な経験と優れた技術力によって、最適な工事計画を立案します。